

<金標準、トランプ政権の不確実性の高まりでリスク逃避・・・>



(出所：オアシス)

年明け 3 日にトランプ政権は米国軍がベネズエラ大統領を拘束し、ベネズエラの原油利権を米国が管理すると発表している。またトランプ大統領は、コロンビア、キューバ、メキシコに対しても警告を発するなど、先行きの不透明感や地政学リスクが高まりを見せている。またトランプ大統領は 1 期目に続き、グリーンランド領有への野心をあらわにし、軍事力の行使も示唆しており、デンマークの自治領である事から米国が軍事を使った場合は NATO の崩壊に繋がる可能性があり、ロシアと NATO の軍事バランスが崩れる可能性が強まる。また中東では、イラン国内のデモ参加者が街頭に繰り出ししており、同国政府が打倒される可能性が出てきている。特にイラン治安部隊とデモ隊の衝突で多くの犠牲者が出ており、トランプ大統領はイランへの軍事攻撃を繰り返し示唆するなど、世界の地政学とエネルギー市場を一変させる重大な転機となり得る出来事になっている。そのためリスク逃避需要が高まりを見せており、2026 年出だしも高値追いを続ける可能性が高いと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り上げだし、シグナルは横ばいし、RCI は短期が上昇し、長期も高値を維持している。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを超えており 23251 円以下は強気の買いが入り易い環境下にあると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,136,000 円(2026 年 1 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 126,720 円(2026 年 1 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>